

# 社会資本の維持管理業務の円滑な実施に向けた契約手法に関する研究



総合技術政策研究センター

建設システム課 研究官 鈴木 敦 部外研究員 角 拓史 課長 塚原 隆夫

(キーワード) 維持修繕工事、入札不調・不落、包括的委託契約

2.

成熟社会への対応

## 1. 研究の背景

社会資本ストックの高齢化に伴い、戦略的維持管理によるストックマネジメントの重要性が指摘されているが、その実行には、維持管理業務の担い手確保が前提となる。一方、近年、国交省直轄工事における契約の不調・不落件数（応札者がいない、もしくは応札価格が予定価格を上回り契約が不成立・やり直しとなる件数）の約1/4は、維持修繕工事が占めており、社会資本のストックマネジメントを着実に実施する上で、維持管理業務の調達方法に関する調査研究は重要なテーマとなっている。

## 2. 維持管理業務の受託契約における現状の課題

表は、道路・河川分野での受注者側から見た維持管理委託契約における現状の課題を、これまで実施してきた維持修繕工事に関するアンケート調査に基づき整理したものである。受注者側から維持管理業務の課題として挙げられた内容は、積算内容（現場実態と積算との乖離）に関するものと、契約手法自体の見直しにより改善可能なものの、大きく2種類に分類できると考えている。

## 3. 研究対象と方向性

本研究では、上記に示す課題のうち、後者の契約手法自体の検討により解決が可能となるものを主な研究対象として、社会資本のストックマネジメントを安定的に実行し得る持続可能な維持管理調達システムを実現するための調査研究を実施している。これまでは、暖冬少雪下における除雪工の調達のあり方についての検討<sup>1)</sup>や、契約や積算プロセスにおける不確実性に起因するリスク要因の取り扱い手法に関する検討等を行ってきた。さらに、図に示すような、最近、国内でも数多くの具体的事例がみられ

表 維持管理業務の委託契約における主な課題（受注者側を対象としたアンケート結果）

契約段階	現状の課題
入札時	緊急時の迅速対応
	資格要件の確保
	現場代理人・監理技術者（配置）の拘束
	工事内容が未確定
	気象・災害など不可抗力のリスク負担
契約期間中	インセンティブとなる魅力のある業務（工事規模・業務内容等）
	現場実態と積算との乖離（待機コスト、小規模・分散した複数現場を含む工事の積算等）
	追加工種への対応
その他	複数年契約における変更手続き
	人員の高齢化・後継者不足

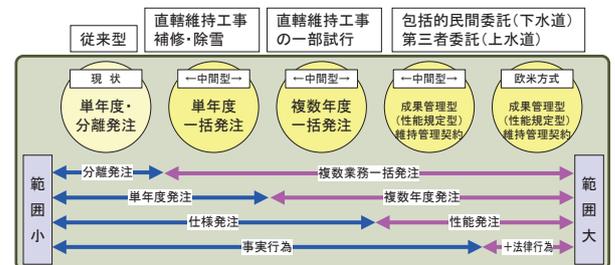


図 維持修繕工事における包括的な業務委託（業務範囲拡大）のイメージ

ている、業務範囲を拡大した包括的な維持管理業務委託に着目し、その契約手法の効果や課題等の調査・検証を行っている。

## 4. 今後に向けて

引き続き関係部局と連携し、これまでの施策の効果や課題の検証に努めるとともに、地方自治体や国外等で先行して見られる契約事例も参考としながら、維持管理業務の円滑な実施に向けた委託契約方法について検討し、提案していきたいと考えている。

### 【参考文献】

1) 駒田, 角, 塚原: 暖冬少雪下の除雪工調達に関する課題, 土木技術資料54-5 (2012)